

小・中学校における 租税教育指導事例集

令和2年3月

登米市租税教育推進協議会

発刊に寄せて

今年度も登米市租税教育推進協議会並びに租税教育推進協力者の皆様のご尽力により、ここに「令和元年度租税教育指導事例集」が刊行されますことをたいへん喜ばしく思います。

税金は、年金・医療などの社会保障・福祉や、水道、道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛といった公的サービスを運営するための費用を賄うものです。国の運営の根幹を支える制度であり、私たちが納めた税金は、「国民の健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となります。みんなが互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくために必要な制度であることを、広く理解していくことが大切であると考えます。

今年度は、市内ほとんどの小・中学校において租税教室が開催され、税金についてのより専門的な学習が進められました。小・中学校段階で、税の仕組みを学び、興味をもち、見聞を深めて理解していくことは、誠に有意義であり、大事な取組と考えます。

さらに本書は、授業中での租税教育指導の進め方について、研究及び実践を行い、具体的に様々な取組を紹介しており、今回は、小学校6校、中学校2校の実践事例が掲載されています。いずれの学校でも児童生徒を対象に分かりやすく「税」を理解させるため、各種の工夫を凝らして取り組んでおり、今後の租税教育活動に大変参考になる内容となっています。極めて有効な実践事例であると認識しており、その効果が大いに期待されるものです。各小・中学校におかれましては、ここに紹介されています租税教育実践事例を、ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。

結びに、各小・中学校の授業で、租税教育の推進にご指導いただいた先生方のご努力とご支援、並びに本事例集の取りまとめに当たられました佐沼税務署の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げ、発刊に際してのあいさつといたします。

令和2年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会 教育長

高橋 富男

目 次

小学校指導事例

① 第6学年	上沼小学校	教諭	村上喜久美	1
② 第6学年	浅水小学校	教諭	及川史子	2
③ 第6学年	中津山小学校	教諭	林智美	3
④ 第6学年	米岡小学校	教諭	高橋宏典	4
⑤ 第6学年	石越小学校	教諭	二階堂奈々	5
⑥ 第6学年	横山小学校	教諭	佐藤祐子	6

中学校指導事例

① 社会科	佐沼中学校	教諭	田口直彦	7
② 社会科	東和中学校	教諭	伊勢健二	8

令和元年度 租税教育推進協力者	9
-----------------	---

令和元年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿	10
--------------------------	----

歴代租税教育推進協力者	11
-------------	----

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金について考える

登米市立上沼小学校教諭 6学年 村上 喜久美





実施年月日：令和2年1月15日 33名

1 実践計画・指導のねらい

私たちの国民生活は、「税」と深く関わっている。税金は、豊かな社会生活を支える根底をなすものであり、安定した生活を送るためのかけがえのないものである。そして、それを支えているのはわたしたち国民一人一人である。しかし、子どもたちにとって税はあまり身近なものとは言えない。

そこで、税が果たしている役割に気付かせることにより、児童が通う学校や公共施設、地域社会などへの関心と愛情を育成していきたいと考えた。さらに、私たちの生活は税と深く関わっており、豊かなくらしを実現するためには税金はなくてはならないものだということを理解させたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	<ul style="list-style-type: none"> 税金について知っていることや疑問を話し合う。 クイズにチャレンジする。 税に関する標語を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金について知っていますか。どんな税金を知っていますか。 ● 消費税・・・。買い物の時に・・・ ○ 税について楽しく学ぼう！ ○ 税に関する標語を作ろう！ □使用教材名 「税について考えよう クイズだぜイ！」法人会 
2	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容について知る。 税金の働きについて税務署の方のお話を聞いたり、質問したりする。 ① 税金の意義 ② 税金の必要性 ③ 身近な税金の使われ方 税金について質問する。 税金について学習したことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税務署の方と一緒に税金について学習しよう。 ● 税金の種類は、いくつかな。 ● 税金は、何に使われているのかな。 ● どんな勉強をするのか。楽しみだな。 ○ 税金は、なぜ納めなければならないのだろうか。 ● 国民の義務だけど・・・。 ● 納めなくてもいい。 ○ 税金がなくなるとどうなるのか。 ● 困っている人を助けられない。 ● 安く物が買える。 ○ 税金は、何に使われているのだろうか。 ● 自分たちの机も、教科書も・・・。 ● 救急車も、図書館も・・・。 ○ 税金について質問しよう。 ● 他にはどんな税金があるのか。 ● 外国にも消費税はあるのか。 ○ 今日の学習で分かったことを書きましよう。 ● 税金がなくなると私たちの生活が大変なことになる。 □使用教材名 税のビデオ (マリンとヤマト)   
3	<ul style="list-style-type: none"> 税金について分かったことや考えたことを「税金に関するはがき」に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金に関するはがきを書こう。 ● どんな絵で表現しようかな。 ● 税金に関する言葉は何にしようか。

【指導のポイント】<1時間目>

○自分たちの知っている税金や使われ方などを友達と話し合わせることで税金に対する興味をもたせる。
○税金についてのクイズに取り組んだり、標語を作ったりすることで、税金について楽しく学び、関心を高める。

【指導のポイント】<2時間目>

○税金について調べたワークシートを準備させ、目的をもって話を聞かせる。
○税についての理解を深めることができるよう、税金の働きについて税務署の方の話を聞かせたり、質問させたりする。
○ビデオ視聴や税務署の方の話から身近な税金の使われ方について知り、税金が計画的に国民のために使われていることを理解させる。
○税金についての学習を通して分かったことやもっと知りたいことなどについて感想を書き、今後の生活に生かしていこうとする気持ちをもたせる。



3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

◎ 租税について学習したことで、身近なところに税金が生かされていることに児童が気づき、納税についての考えが深まったと思う。

◆ 税金についての学習として3時間を授業時数で当てることになり、時数を確保するのが大変だと感じた。

児童の感想から

- 税金が教科書などにも使われていて、とても大切なことが分かった。また、税金が必要な理由が分かった。大人になったらしっかり納税したい。
- 税金がないと、道路などを直せなくなったり公園などの管理ができなくなったりして大変になることが分かった。私たちは税金に助けられていると思った。
- 税金は、社会のために使われていることが分かった。信号や橋などにも使われていることが驚きだった。税金を納めることが大切なことだとも知った。
- 税金が使われているところと使われてないところがあることが分かった。税金は納めるものだという意識をもつことができた。

租税教室実践レポート

自分たちの生活と税金の関わりを考えよう

登米市立浅水小学校教諭 6学年 及川 史子
実施年月日：令和2年1月24日 10名

1 実践計画・指導のねらい

本単元は、学習指導要領の内容（２）ア「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受け、地方公共団体や国の政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解させるとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えることをねらいとしている。

実態調査を行ったところ、全員が「税金」という言葉を知っており、知っている税金の種類として挙げたものは、自分たちも払ったことがある「消費税」が多かった。また、消費税は10%ということも知っていた。税金の使いの道としては「みんなのために使われるお金」という認識はもっており、税金が自分たちの暮らしのために使われているということは理解できている。しかし、必要なものだとは理解していても、実際の場面となると、「自分で払うお金は少しでも少ない方がいい」という声も聞かれる。

このことから、自分たちの暮らしのために税金は必要だという理解を更に深めさせるとともに、税金について正しい知識を身に付けさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	【東日本大震災の発生】 ・東日本大震災発生後の復旧の様子を知り、学習課題をつくる。	○ 被災した人々の願いを実現するためには、どうしたらよいでしょうか。 ● 被災していない人たちがどんなことを望んでいるのかを知る。 ● みんなで協力できる体制をつくる。
2	【東日本大震災への緊急対応】 ・東日本大震災発生直後の行政（市、県、国）の取り組みについて話し合う。	○ 地震発生直後の気仙沼市の取組について調べて発表しましょう。 ● 災害対策本部が設置された。 ● 避難した住民のための食料やトイレなどを宮城県や他県に要請した。
3	【災害復旧に向けた国の支援】 ・災害復旧の取組は、国の政治の働きによるものであることを理解する。	○ 災害復旧に向けた国の取組を調べて発表しましょう。 ● 復旧を進めるために第一次補正予算を成立させる。 ● 仮設住宅の建設、ライフラインの復旧、がれきの撤去、町の整備を進める。
4	【税金について知る】 ・税金とは何か、どんなものがあるのか調べる。 ・なぜ税金が必要なのか調べる。	○ 税金って何でしょう？どんなことに税金が生かされているのか調べてみましょう。 ・教科書や資料集で調べる。
5	【税金の働きを知る】 ・税金の使われ方について知る。 ・税金の大切さや必要性について理解を深める。	○ 自分たちの生活と税金の関わりを考えよう。 ● 税金で作られている物、税金で行っている事がたくさんある。 ● 税金がなくなると、安全な生活が送れない。
6	【復興を願う町や町民の取組】 ・気仙沼市の市民の取組について調べる。 ・商店街の復興までの市民の思いを知る。	○ 復興に向けた様々な取組について調べて発表しましょう。 ● 震災復興計画を作り、復興に向けて取り組んでいる。 ● プレハブを借り、商店街を復興させようと努力している。
7	【様々な支援と絆】 ・復興に向けた様々な取組や支援について調べる。 ・支援活動によって市民の心も支えられていることを知る。	○ 復興に向けてどんな支援や取組がありましたか。 ● 支援物資や寄付金が届いた。 ● スポーツ選手やアーティストによる被災地支援が行われた。
8	【学習のまとめ】	○ これまでの学習を振り返りましょう。



3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

【租税教室実施後の児童の感想】

- ・自分の知っている税金以外の税金のことを知ることができて良かった。税金がないと普段よりもお金がかかったり、橋や施設なども作れなくなることを知った。税金を払うといいことがあるんだと思った。
- ・税金が無くなったらどんな生活になるか分かったし、税金の使われ方を前よりももっと詳しく知ることができた。これからの生活に生かしていきたい。
- ・税金で国が動いていることを知った。税金は絶対に無くしちゃいけないと思った。
- ・「税金なんかいらない」と思わずに、しっかり税金のことを勉強して、税金で作られている物や行われている事を大事にしていきたい。
- ・税金がないと、地域が安全でなくなることを知って、税金は大事だと思った。日本はみんなで協力して安全な町にしているんだと思った。

- ◎ 児童の感想からも分かるように、実際の税金の使われ方や税金がなくなったときの事などは、説明よりもDVDを観た方がより理解が深まった。
- ◎ 今時点での考えだけでなく、将来につながる見方をしている児童も多かったです。

税に関する
絵葉書コンクール
(児童の作品)



租税教育実践レポート

震災復旧・復興の取組みと税金の関係について考える

登米市立中津山小学校 第6学年 教諭 林 智 美
 実施年月日：令和2年1月22日

1. 実践計画・指導のねらい

税金という言葉は全員が知っており、税金の種類についてもいくつか知っている児童が多かったが、その用途についてはあいまいな児童が多かった。東日本大震災の様子を知らせ、震災直後としばらく後では町が復興し大きく変化したことに気付かせる。災害復旧に向けた国や県、市の取り組みについて知る中で、復興にかかる費用は、国民や企業から集められた税金が使われていることに気付かせたい。

2. 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、児童の反応 (●)、使用教材等 (□)
1	震災直後の市や県、国の取り組みについて知る。	○ 震災直後の写真から少しずつ変わっていく町の様子を見て、どのようなことを考えましたか。 ● 何もなくなった土地に少しずつ道路や建物ができてきた。 ○ 復興を願う人々の思いから、政治がどのような働きをしたのか知りましょう。 ● 水道や電気、ガスなども復旧させている。
2	税金が自分の生活とどのように密接にかかわっているか知り、税金の必要性について理解する。	○ 知っている税金の種類は何ですか。 ● 消費税、所得税、住民税、固定資産税 ○ 税金が使われている施設は何ですか。 ● 学校、公園、消防車、信号 等 ○ 税金がないとしたら、私たちの生活はどうなるでしょう。 ● 税金は豊かで夢のある生活を送るためにある。
3	税金を活用し、復興のために努力している人々について知る。	○ 市や国の復興への取り組みについて知る。 ● 復興計画をつくり、さまざまな取り組みをしている。 ○ プレハブの商店街の写真を見て、どんなことが分かりますか。 ● 商店街の復興のために税金を活用している。 ○ 震災から立ち上がった人達の話を聞いてみましょう。 ● 新しい町づくりのために人々が努力し、協力している。税金の大切を改めて感じる。
4	調べてきたことを項目ごとに整理して新聞記事に書く。	○ 調べたことを項目ごとに整理して新聞記事に書きましょう。どの項目にも政治の働きや税金の活用が関わっていることが分かるようにまとめましょう。 ● 震災直後の国、県、市の取り組みについてまとめる。 ● 震災復旧に向けた国、県、市の取り組みについてまとめる。 ● 災害復興に向けた国、県、市の取り組みについてまとめる。

【指導のポイント】《1時間目》
 気仙沼の町を定点カメラで撮影した画像から、道路ができ、建物が建ち、町が少しずつ復興していく様子をとらえさせる。復興にはお金がかかるはずだが、そのお金がどこから出ているか想像させることで税金へと結び付けた。

【指導のポイント】《2時間目》
 税務署からゲストティーチャーを迎え、税金の基礎知識について教えてもらう。もしも税金がなかったらどんな世の中なのかがよく分かる DVD を視聴し、税金の大切さに気付かせた。
 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」



【指導のポイント】《3時間目》
 デジタル教科書を活用し、村田さんや坂本さんが話している様子を児童に示し、復興のために努力している人々について知らせる。プレハブを活用した商店街をつくるためにも税金が活用されていることに気付かせた。

【指導のポイント】《4時間目》
 これまで調べてきたことを関連付けたり、統合したりして、国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることや、税金が活用されていることおさえさせた。

3. 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 気仙沼の町の変化から、誰がどのようにして復旧・復興を進めていったのかという課題を全員がもつことができた。
- ◎ 税務署からゲストティーチャーにおいでいただき租税教室を開催できたことで、税金について児童の興味・関心を高めることができた。
- ◎ 税金の種類カードや建物カード、1億円のレプリカ、DVD など様々な資料を提示していただき、税金についての理解が進んだ。
- ◎ 税金がなかったら私たちの生活はどうなっているのか考えることで、税金が私たちの生活を豊かにするために不可欠であることに気付かせることができた。
- ◆ 税金について調べる際、仙台国税局が制作した副教材「わたしたちのくらしと税金」を活用した。しかし、さらに詳しく調べようとした際、小学生でも理解できるような資料を見つけることが難しかった。
- ◆ 税金について考える際は、「国会」「内閣」「予算案」「国税」「地方税」などの関連語は児童にとって理解が難しかった。次時の「国の政治のしくみ」の学習を行った後もう一度税金について振り返ることで、より深く理解できると考える。

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金

登米市立米岡小学校教諭 6学年 高橋 宏典

実施年月日：令和2年1月24日 23名

1 実践計画・指導のねらい

児童は、社会科の歴史学習において「租・庸・調」や年貢、地租改正などの税の歴史について学んできた。実生活でも、消費税などの身近な税金があることは知っているが、それ以外の税金の種類や税金の使い道については具体的には知らない児童が多い。そこで、本実践では、社会科「わたしたちの生活と政治～子育て支援の願いを実現する政治～」の単元での税に関する学習、「税に関する標語」や「税に関する絵はがきコンクール」への応募、登米法人会よりゲストティーチャーを招いて行う「租税教室」を通して、税金がわたしたちの生活や社会を支える大切なものであることを理解させる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、子供たちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・「第7回 税に関する標語」の募集に応募する作品の作成を通して、税に関する理解と関心を高める。	○ 学んだことをもとに、「税に関する標語」を作しましょう。 ● どんな標語を作ろうかな。 □使用教材名 税について楽しく学べる本 「税について考えよう！クイズだぜい！」 
2	・「令和元年度 税に関する絵はがきコンクール」の募集に応募する作品の作成を通して、税に関する理解と関心を高める。	○ パンフレットを参考に「税に関する絵はがき」を作しましょう。 ● どんな絵はがきにしようかな。 □使用教材名 「平成30年度税に関する絵はがきコンクール」表彰作品のパンフレット 
3	・社会科における「市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して、必要な情報を読み取ること」をねらいとする学習を通して、税に対する理解を深める。	○ 子育て支援のための費用は、どこから出のでしょうか。 ● 税金だと思う。税金はどのように集めるのかな。 □使用教材名 教科書「新編新しい社会6下」 
4	・登米法人会よりゲストティーチャーをお招きして行う出前授業「租税教室」の実施を通して、税に対する理解を深める。	○ 税金の働きや必要性について考えよう。 ● 税金がないとどんなことが大変なのかな。 □使用教材名 税のDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 

【指導のポイント】<1時間目>

法人会発行のテキスト「クイズだぜい！」を使用し、税金について学ぶとともに、学習したことをもとに税に関する標語を作り応募した。

【指導のポイント】<2時間目>

法人会発行の「平成30年度税に関する絵はがきコンクール」表彰作品のパンフレットを提示し、スローガンと税に関する絵を描くことを押さえ、税に関する絵はがきを作成し、コンクールに応募した。

【指導のポイント】<3時間目>

教科書や資料集をもとに、税金の集められ方や使われ方について調べさせ、グループごとにまとめさせた。また、物を買うときに支払っている消費税について取り上げ、自分たちも税金を支払っていることに気付かせ、公共事業に活用されていることを説明した。

【指導のポイント】<4時間目>

ゲストティーチャーとして法人会の方々をお迎えし、専門的な立場から指導していただくことで、児童は税金が自分たちの生活を支えるために重要な役割を果たしていることを理解できた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

◎ 標語や絵はがきの作成、社会科の授業、租税教室など、様々なアプローチから租税教育を進めることができ、児童は税についての学びを深めることができた。また、ゲストティーチャーである登米法人会の方々のお話や税のDVD、1億円のレプリカなどの具体物を活用した学習は分かりやすく、児童は関心をもちながら税金の意味や必要性を理解することができた。

◎ 児童の感想から、租税教育の前後で、税に対するイメージや認識が変化している様子がみられた。税金は自分たちが生活をする上で欠かすことができないものであることを学んだことで、国民の3大義務に「納税の義務」があることの意味を、実感を伴いながら理解することができた。

◆ 児童にとっては、消費税以外の税についてなかなか捉えにくい面がある。「どんなことに、どのようにして、どのくらいの税を納めるのか」という点について、指導者が例示できるようにするなど、児童に伝えられるような手立てを講じることで、児童はより身近なものとして捉えられると考える。

租税教育実践レポート

税金について知ろう

登米立石越小学校教諭 6学年 二階堂 奈々

実施年月日：令和2年1月17日 31名

1 実践計画・指導のねらい

税金の中でも身近な『消費税』については知っているものの、納めた税金がどのように使われているかについて知っている児童はいなかった。税金という言葉を目にしつつ、関心をもつことなく生活してきた。租税教室や社会科を通して政治と税金の関係について学ぶことで、税金が自分たちの生活を支えていることを知り関心を高められるようにする。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・租税教室 税金の意味や使い道について知る。 (佐沼税務署の方を講師にお招きして)	○税金は、みんなのためになることに使われています。税金が使われているものと使われていないものに分けていきましょう。 ●ファミレスもみんなのためになるから使われているんじゃないか。→お店の利益が目的なので使われてはいません。 ●消防車や救急車を呼ぶのに使われている ○税金がなくなるとどうなるでしょう。 ●救急車が呼べなくて困る。 □使用教材名 ・税のビデオ（マリンとヤマト又はアナザーワールド）
2	・子育て支援の取組について知る。 税金の使い道の一つとして、子育ての事業があることを知る。地域での暮らしをよりよくするために事業の工夫について知る。	○市の取組として子育て支援にも税金が使われています。事業はどのような工夫がされているでしょう。 ●親子も楽しそうに活動している。 ●子育ての悩みを相談していて、地域で生活しやすくなっている。 □使用教材名 ・新しい社会6（下）東京書籍
3	・税とはどのようなものか調べる。 細かな種類 具体的な使われ方 教育にかかる税金 税金の歴史 など	○租税教室や授業で税金について学習しました。税金は、そのほかどのようなものがあるかのように使われているかなど、詳しく調べてみましょう。 ●税金の歴史を調べたい。 ●地方税・国税がある ●教育にも税金が使われている。 □使用教材名 ・副教材「わたしたちのくらしと税金」
4	・調べたことを発表する	○税金についてわかってことを発表しましょう。 ●たばこやお酒にも税金がかかっていることを初めて知った。 ●小学校で一年間で一人当たり約8.4万円も使われてると知って驚いた。

【指導のポイント】<1時間目>

税金が使われているものと使われていないものと写真を分類することで、税金についての関心が高まった。税金がなくなった場合を想定したDVDを視聴することで税金の大切さについて理解を深めることができた。

【指導のポイント】<2時間目>

税金が使われる事業の例について学ばせる。子育て支援センターに通っていた児童も数名いた。市民の思いを受けて事業が行われていることを知ることができた。

【指導のポイント】<3時間目>

税金について、知りたいことをそれぞれ調べさせることで、多面的に関心をもてるようにした。税金の歴史として大宝律令の学習を振り返ったり、道路の補装や教育など身近なところでたくさん税金が使われていることを学んだりできた。

【指導のポイント】<4時間目>

分かったことをグループで意見交流した後、特に印象に残ったことをキーワード化し黒板に書かせた。それぞれ、疑問に思ったことを質疑応答させたことで、税金についての理解が深まった。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

◎税金についての関心が高まり、自分たちの身近なところでも使われていることや生活を支えていることについて知ることができた。

◎歴史を振り返りながら、税金は古くから生活に根付いていることについて理解することができた。

◆税金について多面的に興味関心を喚起することはできたが、より理解の深まりを得るためには部分的に焦点化を図る必要があった。

◆計画的に系統立てて税金についての学習を組み立てる必要があった。

租税教育実践レポート

税金の働きについて知ろう



登米市立横山小学校教諭 6学年 佐藤 祐子

実施年月日：令和元年7月17日 13名

1 実践計画・指導のねらい

税金に関して学ぶ単元として、「わたしたちのくらしと日本国憲法」「わたしたちの生活と政治」がある。令和元年10月からの消費税率引上げに合わせ、年間指導計画における指導内容の一部を入れ替えて、1学期に「租税教室」を実施した。税金の種類について事前の意識調査を行ったところ、児童は税金についての知識が極めて少ない状態であった。租税教室の実施後、税金の種類や特徴、使われ方等について授業を行った。また、教科等横断的な学習を実施し、税に関する標語コンクールや税に関する絵はがきコンテストに応募し、税に関する興味・関心を高めようと考え指導実践に当たった。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	<ul style="list-style-type: none"> 税金とは何かを知る 税の学習コーナーを使い、必要な情報を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税が上がるけれども、税金は必要だと思いますか。 ● 消費税が上がるのは反対。税金はなくていい。 □使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 国税庁「学習コーナー」
2	<ul style="list-style-type: none"> 【租税教室】 税金の役割や必要性を知る DVDを視聴し、税金の必要性について考える 感想を発表し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金はどんなことに使われているでしょうか。 ● 自分たちの生活に必要なことに使われているということを初めて知った。消費税が上がるのに反対していたけど、税金はなくてはならないものだとわかった。 □使用教材名 税のビデオ（マリンとヤマト） 
3	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の建設費用と税金の関係や、税金の働きについて調べ、まとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金はどうやって集められ、どのように使われるのかを調べてまとめましょう。 ● 仕事をしている人だけでなく、自分たちも物を買ったときに消費税として税金を払っていたのだな。 □使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 財務省「キッズコーナー」
4	<ul style="list-style-type: none"> 税について感じたことや考えたことを表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税に関する絵はがきコンクールや税の標語等に向けての作品作りを通して、税の大切さについてもう一度考えよう。 ● 税金は自分たちの生活のために必要なものだというのを改めてわかった。 □使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 まんが「おじいさんの赤いつぼ」 

【指導のポイント】≪1時間目≫

国税庁の税の学習コーナーを活用し、税金とは何か、身近な税金について調べさせる。

【指導のポイント】≪2時間目≫

税金が使われているものとそうでないものに分けることで、自分たちの生活に必要なものに税金が使われていることに気付かせる。

【指導のポイント】≪3時間目≫

学び合いを取り入れ、全体で確認しながら税金の働きについてまとめた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

租税教室で使用した資料や感想カードを確認させながら、税金に対する思いを絵や標語に表すことができるようにする。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 消費税率引上げの機会を捉えて、児童の興味を喚起した実践を累積してきた。税金の必要性を考えさせる上で、DVDを視聴したことは効果的であり、児童自身が、「税金は市民の生活のためにはなくてはならないものだ」と、その必要性を実感する学びの場となった。また、納税の重要性に関して多面的に考える機会となった。
- ◎ 税の学習は、国税庁や財務省の著作教材を活用することが有効であると感じた。
- ◆ 第6学年社会科の年間指導計画に加えて、他教科・各学年の指導計画に税に関する指導に位置付けることで、効果の高い指導が可能であると感じた。

租税教育実践レポート

(テーマ) 身近な事例から自分の生活と税との関わりについて考える

登米市立佐沼中学校教諭 3学年 田口 直彦
実施年月日：令和2年1月31日 144名

1 実践計画・指導のねらい

本単元「政府の役割と国民の福祉」は、中学校学習指導要領社会科の公的的分野の内容(2)イにあたり、国民生活と福祉の向上を図るために国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせることを通して、経済についての見方や考え方の基礎を養うことを主なねらいとしている。指導に当たっては、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、身近な事例を取り上げながら、税と自分の生活や将来との関わりに気付かせていく。税についての理解と関心を深め、納税者としての自覚を養ってきたい。

2 単元構成・実際の指導状況 (単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導)

時間	学習内容	主な発問(○)、こどもたちの反応(●)、使用教材等(□)
事前学習	税の作文について 消費税について	○ 税について知っていることはありますか。 ● 学校とか道路に使われている。 ● 消費税を払っている。 □ 中学校社会科用学習資料「私たちの暮らしと税」 ○ 税はなぜ必要か考えてみましょう。 ● 少子高齢化が進んでいて、医療や福祉関係にお金が掛かる。 ● 公的サービスを支える会費のようなものなのでしっかりと納める必要がある。 □ 「もっと知りたい 税のこと」(財務省)
1	私たちの生活と財政 ・ 財政の仕組み ・ 様々な税金 ・ 税金の公平性	○ 政府はどこから収入を得て、どのようなことに支出しているのだろう。 ● 色々な種類の税金を集めている。公債金(借金)も多い。 ● 社会保障関係費など、人々の暮らしのために使われている。 ○ 軽減税率は何のためにあるのだろう。 ● みんな同じ税率になるので公正であるし、酒類や外食を除く食料品が対象なので、所得の低い人にとっては良い。 ● 軽減した分、税収が減ることになるので効率的ではない。
2	政府の役割と財政の課題 ・ 市場経済と政府 ・ 財政政策 ・ 公債の発行 ・ これからの財政	○ A・Bの意見の良い点と問題点を挙げ、公債の発行はどうあるべきか、考えよう。 A：公債の発行をやめ、大幅な増税を行って、税収だけで歳入をまかなうべき B：公債の発行をやめ、歳出を大幅に減らし、社会資本や公共サービスはすべて民間に任せよう ● 増税は、所得が低い人ほど生活のやりくりが苦しくなる。民間に任せるとサービスがすべて有料になり、やはり生活が大変になる。 ● 減らせる歳出はないか考え、税を有効に使うことが大切だと思う。 □ 「もっと知りたい 税のこと」(財務省)
3	社会保障の仕組み ・ 社会保障の4つの柱 ・ 社会保障を支える人々	○ 将来、働けなくなったらどうやって生活するか。 ● 社会保険料を支払って、医療費や年金がもらえる仕組みになっている。 ● 介護などの仕事に関わる人によって支えられている。
4	少子高齢化と財政 ・ 社会保険の現在 ・ 福祉社会の実現に向けて	○ 今後の私たちの社会保障はどうあるべきか。 ● 高齢者が増えることを考えて、ヨーロッパのように高福祉高負担が良い。 ● 若者の負担を考えると、税は低負担で自己責任の部分があって良い。 □ 「ご案内します アナザーワールドへ」(DVD)

【指導のポイント】<事前学習>

夏休みの課題として「税の作文」に取り組みさせるために、資料をもとに解説した。また、1クラスのみ、単元に入る前に税務署の方を招いて消費税の説明をしていただいた。どちらも短時間ではあったが、税について考えるきっかけになった。

【指導のポイント】<1時間目>

単元の導入として税の学習への興味・関心を持たせるために生徒に身近な消費税を取り上げた。レシートをもとに軽減税率の対象となっているものに気付かせ、制度の良さや課題について効率と公正の視点から考えさせた。

【指導のポイント】<2時間目>

日本の財政状況について、税務署から頂いた資料を活用したことで、教科書よりも新しいデータを提示できた。最新のデータをもとに、ここ1～2年でも債務残高が増えていることを確認できた。また、債務残高を減らす方法について、資料をもとに話し合い、考えることができた。

【指導のポイント】<4時間目>

授業の前半でDVDを活用し、税の必要性や財政の課題を確認した上で、今後の日本の社会保障のあり方について、自分の考えをまとめさせた。DVDの内容は、教師が説明するより簡潔で分かりやすく、効率よく授業を進めることができた。

3 実践の成果(◎)と課題(◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 税に関するたくさんの資料の中から必要な部分を抜粋し、効果的に活用することができた。基本的には教科書や資料集を使って授業を進めてよいと思うが、パンフレットやDVD等の方が分かりやすいものもあるので、よりよい資料を探して活用したい。
- ◎ 税と自分たちの生活との関わりをどう認識させるか、そこが一番のポイントであった。できるだけ身近で具体的な事例を提示し、発問を工夫したことで、興味・関心が高まり、自分のこととして考えさせることができた。
- ◆ 講師の活用は、税への理解や疑問が深まる単元後半の方が効果的かもしれない。教師ではできないところがあれば、必要に応じて協力を依頼する。

租税教育実践レポート

税金の使い道を考えてみよう！

登米市立東和中学校教諭 3学年 伊勢 健二

実施年月日：令和元年12月10日 43名

1 実践計画・指導のねらい

生徒は消費税など身近な税金については知っているが、税制度の仕組みなど全体的なことは知らないことが多い。しかし、税金については関心を持っているので、身近な税制度を取り上げて、単元や授業を展開することで理解を深めることができると考えた。また、級友と意見を交換し、共有することで、より深い学びができると思い、話し合い活動や発表の仕方などの工夫を行った。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・財政の仕組みを理解する。 ・税金の制度について考える。	○ <u>日本の税金は平等かな？</u> ● 所得税の累進課税から、所得が多くなればなるほど高い税率になることに気付いた。 ● 消費税などの間接税は、その人の所得に関係なく同じ金額の商品を購入したら同じ金額の税金を負担しなければならないことに気付いた。 ● 税金の負担を平等にするため複数の税金をうまく組み合わせていることを知った。
2	・国の歳入、歳出について理解する。	○ <u>身近な生活の中で、税金はどのように使われているかな？</u> ● 起床してからの1日の生活の中で、税金によって支えられていることの多さを知った。 ● 少子高齢化による社会保障関係費の増加など歳出の内訳を知った。 ● 歳入の不足を補うために、国債の発行が多くなり、借金が増えていることを知った。 □使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 国の歳入、歳出について資料を使い確認した。
3	・予算を考える。	○ <u>予算を立ててみよう！</u> ● 日本の予算について、自分が考える課題（テーマ）について、税金の使い道を考えた。 ● グループの中で、一人一人が考えた予算案を発表することで、様々な税金の使い道について知った。 ● 一人一人が作った予算案を掲示し、お互いが見合うことで全体でも共有し、自分との共通な部分や違いに気付いた。
4	・税金の使い方を知り、考える。	○ <u>この道路工事は必要？</u> ● 身近で行われている道路の工事について、必要だという意見と不必要だという意見を、それぞれ考えた。 ● 様々な立場から意見を考えることや、全体的な視点を持つことの大切さに気付いた。

【指導のポイント】

≪1時間目≫

消費税など分かりやすい税金を取り上げることで、関心を持って課題に取り組めた。

【指導のポイント】

≪2時間目≫

自分の1日の生活から税金が使われている。場面を考えることで、積極的に取り組めた。

【指導のポイント】

≪3時間目≫

一人一人が考えることで、税金の使い道をより身近に考えることができた。

【指導のポイント】

≪4時間目≫

様々な立場から考えることで、より深く理解できた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 消費税など身近な税金を授業で取り上げることで、生徒の興味や関心を高めることができた。
- ◎ 身近なものから興味や関心を持たせ、話し合い活動を通して意見の交換や共有を行い、考えを深められた。
- ◆ 累進課税制度や国の借金の多さに驚きを感じている生徒が多かった。

(その他) 話し合い活動を通して、級友と意見交換をすることで様々な意見を知ることができて良かった。

令和元年度 租税教育推進協力者

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
上 沼 小学校	6学年	村 上 喜久美 教諭
浅 水 小学校	6学年	及 川 史 子 教諭
中津山 小学校	6学年	林 智 美 教諭
米 岡 小学校	6学年	高 橋 宏 典 教諭
石 越 小学校	6学年	二階堂 奈々 教諭
横 山 小学校	6学年	佐 藤 祐 子 教諭
佐 沼 中学校	社会科	田 口 直 彦 教諭
東 和 中学校	社会科	伊 勢 健 二 教諭

令和元年度 登米市租税教育推進協議会構成員名簿

(敬 称 略)

役職名	所 属	氏 名
会長	登米市教育委員会 教育長	高 橋 富 男
幹事	宮城県東部教育事務所 所長	樋 口 英 明
幹事	登米市小学校長会 会長	鈴 木 勉
幹事	宮城県東部県税事務所登米地域事務所 所長	今 泉 勝
幹事	登米市総務部次長兼税務課長	高 橋 洋
幹事	佐 沼 税 務 署 署 長	佐々木 讓
	県北高等学校長会 登米地区代表	茂 木 好 光
	登米市中学校長会 会長	伊 藤 浩
	登米市教育研究所 所長	萩 田 隆 児
	登米市教育委員会 生涯学習課 課長	日 野 幸 紀
	登米市納税貯蓄組合連合会 会長	及 川 俊
	公益社団法人登米法人会 会長	渡 邊 光 悦
	東北税理士会宮城県北支部佐沼部会 部会長	及 川 富 男

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子 教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一 教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一 教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原仁 教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子 教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘 教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎 教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦 教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏 教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫 教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一 教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子 教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子 教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄 教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝 教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘 教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄 教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子 教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚豊 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法 教諭
米山町	米山中	社会科	及川喬 教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明 教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子 教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺蔦 教諭
石越町	石越小	3 学年	石山順 教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野峻 教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志 教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫 教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階堂 和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋 節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	6 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	佐々木勝江 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	高橋秀憲 教諭
中田町	上沼小	5 学年	鈴木典幸 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	水沼勝 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	菅原善彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	熱海宏明 教諭
南方町	南方小	6 学年	佐藤秀明 教諭
登米町	講師	社会科	三浦秀治 教諭
石越町	石越中	社会科	山家英樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	3 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	萩田志保子 教諭
東和町	米谷小	5 学年	鈴木真理 教諭
中田町	浅水小	5 学年	佐藤教子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	兵藤清美 教諭
米山町	中津山小	6 学年	佐藤勉 教諭
石越町	石越小	5 学年	桜井ひろみ 教諭
南方町	東郷小	5 学年	熊谷俊子 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭
米山町	米山中	社会科	石田康之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	T T	岩渕安弘 教諭
登米町	登米小	6 学年	熱海宏明 教諭
東和町	錦織小	5 学年	菅原善彦 教諭
中田町	桜場小	5 学年	佐藤美紀子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	後藤智子 教諭
米山町	米岡小	5 学年	秀由佳 教諭
石越町	石越小	5 学年	野里恵二 教諭
南方町	西郷小	5 学年	笹原明美 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
中田町	中田中	社会科	箱石雄悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	4 学年	金野ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	飯塚市代 教諭
東和町	鱒淵小	6 学年	中井充夫 教諭
中田町	石森小	5 学年	岩渕公一 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	矢野美智代 教諭
米山町	善王寺小	5 学年	遠藤聡子 教諭
石越町	石越小	5 学年	佐藤眞紀 教諭
南方町	南方小	6 学年	石井大志 教諭
東和町	東和中	社会科	高橋和芳 教諭
豊里町	豊里中	社会科	矢内昭裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6 学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5 学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5 学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5 学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5 学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	加瀬谷 武敏 教諭
中田町	新井田小	6 学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5 学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5 学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5 学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6 学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5 学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6 学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6 学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6 学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5 学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5 学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	佐沼小	6 学年	千葉 克憲 教諭
錦織小	錦織小	5 学年	佐藤 理英 教諭
石森小	石森小	5 学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小	加賀野小	6 学年	鈴木 周 教諭
中津山小	中津山小	5 学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小	桜岡小	6 学年	鈴木 明美 教諭
東郷小	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
柳津小	柳津小	6 学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中	佐沼中	社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中	豊里中	社会科	寺内 篤 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第一小	6 学年	秋 葉 徹	教諭
嵯峨立小	5・6 学年	渡 邊 宏 紀	教諭
上 沼 小	6 学年	熊 谷 真 理 子	教諭
浅水小	6 学年	鈴 木 勝 彦	教諭
豊里小	6 学年	寺 内 篤	教諭
善王寺小	5・6 学年	菅 原 満 夫	教諭
西郷小	5 学年	千 葉 洋 子	教諭
横山小	5 学年	佐 藤 秀 俊	教諭
東 和 中	社会科	高 橋 和 芳	教諭
南 方 中	社会科	菅 原 栄 治	教諭

平成19年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第二小	6 学年	永 倉 郁 裕	教諭
米 川 小	6 学年	萩 原 達 也	教諭
鱒淵小	3・4 学年	長 南 忠 男	教諭
宝 江 小	6 学年	佐 藤 朱 美	教諭
中津山小	6 学年	米 島 久 智	教諭
米 岡 小	6 学年	三 浦 弘 義	教諭
石 越 小	6 学年	高 橋 聡 子	教諭
南 方 小	6 学年	鈴 木 久 美	教諭
登 米 中	社会科	藤 浦 悟	教諭
津 山 中	社会科	飯 川 弘 芳	教諭

平成20年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
北 方 小	6 学年	菅 原 善 彦	教諭
森 小	特別支援	芳 賀 明 洋	教諭
桜 岡 小	6 学年	千 葉 高	教諭
善王寺小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
中津山小	6 学年	村 上 喜 久 美	教諭
米 谷 小	5 学年	佐 々 木 里 香	教諭
石 森 小	5 学年	澁 谷 智 樹	教諭
加賀野小	6 学年	大 友 厚 子	教諭
新 田 中	社会科	箱 石 雄 悟	教諭
石 越 中	社会科	田 口 勇 介	教諭

平成21年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学年	千 葉 恵 理 子	教諭
森 小	5 学年	鈴 木 淳	教諭
錦 織 小	6 学年	芳 賀 明 洋	教諭
浅水小	6 学年	小 野 寺 博 美	教諭
米 岡 小	6 学年	佐 藤 英 明	教諭
南 方 小	6 学年	高 橋 敏 子	教諭
柳 津 小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
佐 沼 中	社会科	小 山 紘 明	教諭
米 山 中	社会科	守 康 幸	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛 教諭
米 谷 小	社会科主任	小 畠 宏 夫 教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹 教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂 教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有 教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎 教諭
豊 里 中	社会科	井 上 鮎 香 教諭
南 方 中	社会科	富 安 隆 文 教諭

平成23年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟 教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬 教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博 教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和 教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子 教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男 教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 田 中	社会科	中 津 川 英 樹 教諭
津 山 中	社会科	飯 川 弘 芳 教諭

平成24年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟 教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子 教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み 教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦 教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄 教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典 教諭
東 和 中	社会科	藤 浦 悟 教諭
石 越 中	社会科	伊 藤 圭 講師

平成25年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純 教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀 教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理 教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之 教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
横 山 小	教務主任	鈴 木 明 美 教諭
登 米 中	社会科	遠 藤 孝 講師
米 山 中	社会科	清 水 裕 治 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	鈴 木 健 太 郎 教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬 教諭
米 川 小	6 学 年	高 橋 寛 教諭
宝 江 小	6 学 年	鈴 木 真 亀 子 教諭
豊 里 小	6 学 年	千 葉 恵 理 子 教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子 教諭
南 方 小	社 会 科	後 藤 善 史 教頭
柳 津 小	教 務 主 任	菅 原 満 夫 教諭
新 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭
豊 里 中	社 会 科	中 津 川 秀 樹 教諭

平成27年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	佐 々 木 理 教諭
錦 織 小	教 務 主 任	岩 淵 安 弘 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	小 幡 秀 明 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 智 之 教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之 教諭
東 郷 小	6 学 年	金 野 ゆ か り 教諭
佐 沼 中	社 会 科	及 川 正 生 教諭
中 田 中	社 会 科	白 石 善 郎 教諭

平成28年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純 教諭
米 川 小	6 学 年	佐 藤 理 英 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 秀 明 教諭
中 津 山 小	6 学 年	鈴 木 周 一 教諭
南 方 小	6 学 年	佐 藤 ゆ か り 教諭
横 山 小	教 務 主 任	浅 野 克 樹 教諭
東 和 中	社 会 科	林 佳 舗 講師
南 方 中	社 会 科	鈴 木 一 郎 教諭

平成29年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	高 橋 慎 教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 亘 平 教諭
石 森 小	6 学 年	高 橋 寛 教諭
浅 水 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
西 郷 小	3 学 年	佐 々 木 芽 衣 子 教諭
柳 津 小	5 学 年	佐 藤 育 子 教諭
石 越 中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭
津 山 中	社 会 科	白 石 善 郎 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成30年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学 年	鈴 木 一 郎	教諭
登 米 小	6 学 年	後 藤 步	教諭
錦 織 小	6 学 年	岩 淵 安 弘	教諭
宝 江 小	6 学 年	遠 藤 寛 樹	教諭
豊 里 小	6 学 年	皆 川 玲 奈	教諭
米 山 東 小	6 学 年	千 葉 美 由 紀	教諭
登 米 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

令和2年3月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） (0220) 22-2501